



2026年3月30日

各位

会社名 フルテック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 古野 元昭  
社長執行役員 COO  
(コード番号：6546 東証スタンダード 札証)  
問合せ先 取締役専務執行役員 田中 康之  
管理本部長兼経営企画室長  
(TEL. 011-222-3572)

## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、本日、北海道財務局に提出いたしました2025年12月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効ではない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、2025年12月期の決算処理の過程において、2025年7月に導入し、同年11月より本格稼働した新基幹システムに関し、主に原価計算に係る数値検証が不十分であったことに起因して複数の不具合が発生したため、決算手続が遅延する事態となりました。

当該事象の原因は、以下に記載する IT 全般統制及び全社的な内部統制の不備にあると認識しております。

##### (1) IT 全般統制の不備

当社は新基幹システムについて、タスクフォース体制で導入・検証を進めておりました。当社には情報システム部門およびシステム管理規程・手順書が存在していたものの、システムベンダーとの窓口となる主管部門が曖昧であったこと、基幹システム導入経験を有する人材が不足していたことにより、システム開発時の IT 全般統制に関する責任者の役割・権限が明確に定義されておらず、規程に基づく統制運用が実効的に機能していませんでした。

その結果、新基幹システムの本格稼働判定の前提となる原価計算領域のテスト検証が不十分となり、本稼働後に判明した不具合に関するシステムベンダーとの調査に相当の時間を要し、決算手続の遅延を招くこととなりました。

##### (2) 全社的な内部統制の不備

当社では、重要な業務システムの導入・刷新は「職務権限規程」に基づき取締役会決議事項としており、経営層は取締役会資料を通じてシステム領域に関する判断が可能となる体制を整備しております。

しかしながら、前項(1)に記載した IT 全般統制の不備により、システム移行へのリスク認識と検証手続が不足している状況でシステム導入判断を行い、結果として決算手続の遅延を招くこととなりました。

これらにより、決算手続が遅延したことから、全社レベルの決算・財務報告プロセス統制においても不備があったと認識しております。

なお、原価計算機能等の不備については、システムベンダーとの調査を経て修正対応を実施し、機能面の主要な不備は解消されているため、連結財務諸表に与える影響はありません。

## 2. 当事業年度末日までに是正できなかった理由

上記事実が判明したのは当事業年度末日後であったため、当該開示すべき重要な不備を当事業年度の末日までに是正することができませんでした。

## 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の重要性を認識し、これらの重要な不備を是正するため、以下の方針に基づき改善策を講じ、適正な内部統制の整備および運用を行います。

### (1) IT 統制責任者および統括部門の明確化

管理本部管理部長を IT 統制責任者として任命し、情報システム課を新基幹システムの統括部門として位置付け、システム変更管理・検証フローの再設計及び運用等を実施します。

### (2) 統制環境の強化

経営層による IT 統制のモニタリング体制を強化します。

## 4. 連結財務諸表等に与える影響

連結財務諸表等に与える影響はありません。

## 5. 連結財務諸表および財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上